

議題 2 新たな取り組みについて

- ・ 熊本市いきいき健康大使
- ・ 歯っぴー39 (サンキュー) チャレンジ
- ・ 熊本市がん検診受診率向上計画
- ・ 糖尿病を減らそう事業

議題(2)-1 熊本市いきいき健康大使

市民の健康に対する意識の醸成を図るとともに、健康寿命の延伸を目指し、本市の健康づくりを推進するため、平成29年9月15日「熊本市いきいき健康大使」として下記の3団体に委嘱状を交付しました。イベントやコンサートなどで、がん検診の受診啓発や健康づくり啓発活動への協力をしていただきます。



※委嘱期間は平成29年9月15日～平成32年3月31日まで

(1) ミス・ユニバース・ジャパン熊本（ファイナリスト約10名）

健康意識が高く、若い世代から全ての市民に健康の大切さと健康美に関する発信力を持ち合わせている。また、ミス・ユニバース熊本主催のイベントにおいても健康に関する情報発信の協力が期待できる。

(2) S.K.K.（子宮頸がん検診普及ボーカルユニット 8名）

熊本大学病院の専門医師や医学部・薬学部などの教員と学生、メディア、市や県の行政職員などの連携団体「K 発プロジェクト」から生まれた子宮がん検診受診率向上を目指し結成されたユニット。ステージイベントでクイズを通してがん検診受診啓発を実施している。20代メンバーからの発信により若い世代への啓発効果が期待できる。

(3) Book Bear（ブックベア）（女子小学生くまもと応援バンド5名）

市内の小学4年生から6年生までの女子小学生で結成された、熊本シティエフエムがプロデュースするロックバンド。ステージイベントやラジオにおいて、健康づくりに関する歌（※）を通して、健康づくりの啓発を実施している。小学生からの発信により小中学生の保護者世代（20代～40代）への健康づくりに関する啓発効果が期待できる。

※食の大切さを伝える「朝ごはんを食べよう」や、歯の大切さを伝える「未来へGO!GO!わくわく8020ソング」

■今後の活動予定

ミス・ユニバース・ジャパン熊本ファイナリスト



- 1 0 / 7 健康大使による啓発活動説明会
- 1 0 / 1 4 花火大会での啓発活動
- 1 0 / 2 1 むし歯予防全国大会での啓発
- 1 1 月～ 各種イベントでの啓発活動を予定

S.K.K. (子宮頸がん検診普及ポータルユニット)



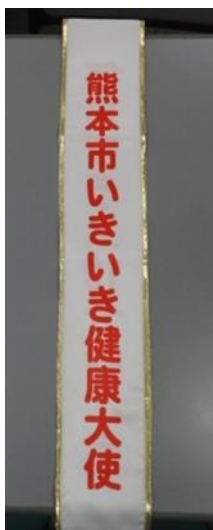
- 1 0 / 7 上通り・並木坂でイベント
- 1 1 月～ 各種イベントでの啓発活動を予定
- 1 / 8 成人式での子宮頸がん受診啓発

BookBear ブックベア (女子小学生くまもと応援バンド)



- 1 0 / 7 银杏祭 (銀座通り)
- 1 0 / 8 子ども商店街 (サンロード新市街)
- 1 0 / 1 5 やるキッズ (サンロード新市街)
- 1 0 / 2 1 身近な森のコンサート(龍田小学校)
- 1 1 月～ 各種イベントでの啓発を予定

たすき 表面



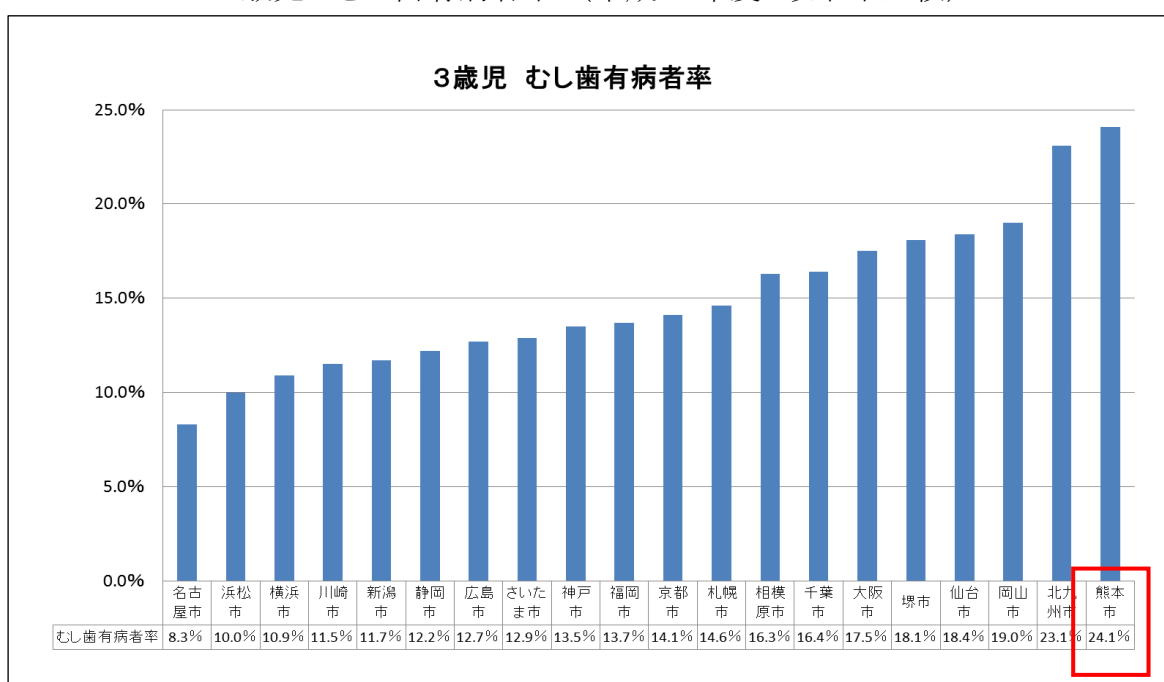
たすき 裏面 (健康メッセージ8種類)



議題(2)-2 歯っぴー39(サキユ)チャレンジ

熊本市の子どもたちはむし歯が多く、3歳児においては政令指定都市の中で「ワースト1」という現状である。第3次熊本市歯科保健基本計画の中でも「平成34年度までにむし歯のない3歳児を9割に増やす」という目標を達成するため、歯科保健推進協議会で検討を深め、平成28年度に「熊本市歯っぴー39(サキユ)チャレンジ」とのスローガンを掲げ、関係機関と連携しながら子どものむし歯予防に取り組んでいる。

■3歳児のむし歯有病者率（平成28年度 政令市比較）



出典：全国乳幼児歯科健診結果

<行政>

- ① 産婦人科における妊婦への歯科健診の受診勧奨の充実
- ② 妊婦歯科健診や幼児健診において歯科保健指導内容の充実を図った
- ③ 満1歳おめでとうカードの郵送
- ④ 無料歯科健診券付き啓発カードの配布

小児科、市薬剤師会会員薬局、区役所、コンビニエンスストア、地域イベント等

- ⑤ 地域歯科保健研修会の開催（平成29年3月9日）

演題：「多職種連携で始める子どものむし歯予防！」～小児科医の立場より～

講師：小児科・内科 杉野クリニック院長 杉野茂人氏（熊本県小児科医会会長）

参加者：73人（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、保育士、保健師

養護教諭、歯科衛生士、歯科技工士、8020推進員）

<関係団体・機関>

【熊本市歯科医師会】

- ① 産婦人科における妊婦への歯科健診受診勧奨に関するチラシの作成・配布
- ② 無料歯科健診券付き啓発カードによる無料歯科健診の実施

【熊本市医師会】

- ③ 産婦人科における妊婦への歯科健診受診勧奨に関するリーフレットの配布
- ④ 小児科医を対象としたむし歯予防研修会の開催

【熊本市薬剤師会】

- ⑤ 無料歯科健診券付き啓発カードの配布（市薬剤師会会員の薬局 340 ヶ所）

【熊本県歯科衛生士会】

- ⑥ 地域における歯科健康教育の実施

【熊本私立幼稚園・認定こども園協会】

- ⑦ 幼稚園・認定子ども園の職員や保護者へむし歯予防教育を実施
- ⑧ 幼稚園・認定子ども園における新入園児対象への歯科啓発

【熊本市保育園連盟】

- ⑨ 保育園における歯科啓発（園内掲示板にむし歯予防ポスターを貼付）保育園の職員や保護者へむし歯予防教育を実施

平成29年度の新たな取り組み

【熊本市医師会】

- ① 無料歯科健診券付き啓発カードの配布（小児科を標榜する内科 111 ヶ所）
- ② 小児科における「7ヶ月健診」受診者へのむし歯予防リーフレットの配布

【熊本市保育園連盟】

- ③ 保育園全園に配布する広報誌「市保育園連盟だより」平成29年7月号に特別寄稿として表紙にむし歯予防の必要性和「歯っぴー39 チャレンジ」の取り組みについての記事を掲載し、保育園職員や保護者への歯科啓発を実施
- ④ 平成29年10月12日に保育園看護師対象に「子どものむし歯予防」をテーマとした研修会を実施予定

【8020健康づくりの会】

- ⑤ 校区子育てサークルを運営する主任児童員への8020育成講座への参加呼びかけを実施

議案(2)-3

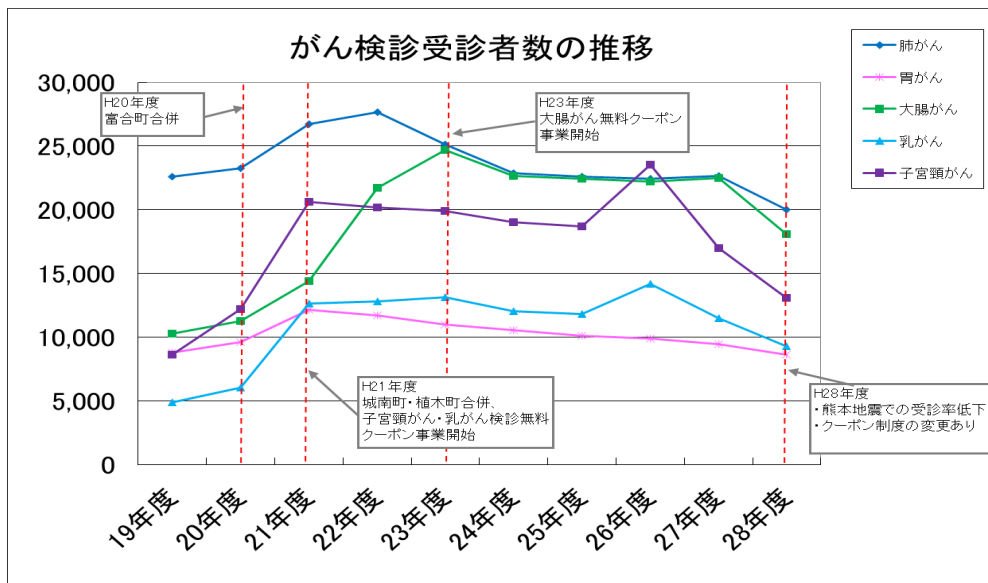
熊本市がん検診受診率向上計画（概要）

【目的】

本市のがん検診の受診者数の推移を見ると、ここ数年伸び悩んでいる状況。このような中、がんによる死亡率増加を防ぐため、これまで本市が取り組んできた国の指針に基づくがん検診の実施に加え、科学的根拠にもとづいた受診率向上に向けた取組みや他都市で実績を上げている取組みの導入検討を体系的に進めていくもの。

【現状】

本市のがん検診の受診者数は、過去、市町村合併、無料クーポン事業の開始等に伴い受診率が上昇していたが、ここ数年は概ね、横ばい・微減傾向であったが、平成 28 年度は熊本地震などにより大幅に落ち込んだ。



【受診率向上計画期間】

受診率向上計画の取組み期間：平成 29 年度～平成 31 年度（3 年間）
 ※ 7 次総合計画と合致

【健康くまもと 21 基本計画に掲げる目標値】

○健康くまもと 21 基本計画

検証指標	H27 実績	目標値 (H30 年度)
肺がん検診受診率	29.0%	40%
胃がん検診受診率	39.4%	
大腸がん検診受診率	35.1%	50%
乳がん検診受診率	48.6%	
子宮頸がん検診受診率	47.4%	

※調査は市民アンケート調査による。次回調査は 30 年度を予定。

【主な取組み】

1 イベント等におけるがん検診周知・啓発

- ・わくわく健康大使による市民啓発の実施

2 市内大手企業（アルバイト、パート向け）における巡回検診実施検討

- ・従業員 50 人以上の事業所に対し需要調査の実施

3 冬期における大腸がん検診の検体郵送

- ・12 月から 2 月までの 3 ヶ月間において検体郵送の試行

4 応急仮設住宅におけるがん検診の増加の取組み

- ・H28 藤山応急仮設住宅

⇒H29 東町応急仮設住宅の追加実施



5 受診勧奨の拡充

- ・～H28 20、40 歳への受診勧奨（新規検診対象者）

62、65、68 歳への受診勧奨（退職世代向け）

⇒H29 26、30、36 歳への受診勧奨(子宮頸がんハイリスク層)

46、50 歳への受診勧奨（乳がんハイリスク層）

H25～27 受診者で H28 受診未受診者への受診勧奨

（地震で受診機会を逸した市民に対する受診勧奨）

目標：第7次総合計画目標値
期間：H29年度～H31年度

がん検診受診率向上

がん及びがん検診に
関する周知・啓発

がん検診受診
環境の整備

企業・団体等との
協働による取組み

効果的な
受診勧奨

効果的な検診方法
等の導入・検討

取組み概要

- ・がん及びがん検診の正しい知識の普及
- ・あらゆる機会を捉えた広報の実施
- ・各種団体等に対する啓発協力

取組み概要

- ・特定健診とがん検診の同時実施
- ・休日がん検診の実施
- ・応急仮設住宅等への巡回検診

取組み概要

- ・包括連携企業との連携強化
- ・がん対策企業等連携協定企業との協働の取組み

取組み概要

- ・検診初年度対象者に対する受診勧奨
- ・退職により受診機会を失った方に対する受診勧奨
- ・時期に応じた勧奨の実施

取組み概要

- ・大腸がん検診検体郵送の取組み
- ・胃内視鏡検査の導入検討
- ・新たなステージに入ったがん検診総括支援事業（無料クーポン事業）

具体的取組み

- ① 市政より、リビング新聞、すばいす、ラジオ等を活用した広報
- ② 他課等の行イベントを活用した市民啓発
- ③ 乳幼児健診来庁者への乳・子宮頸がんパンフレット配布
- ④ 区民まつりなど地域イベントにおける啓発
- ⑤ G A N A N G E L S ※1を活用した啓発
- ⑥ K K Tとの協働による市民啓発の実施（今後検討）
- ⑦ 子宮頸がん検診受診啓発を行っている S K K ※2との連携による啓発
- ⑧ 市PTAなど各種団体会員向けの広報

※1 港区の保健師を中心としたがん検診啓発隊
※2 子宮頸がん検診を啓発する癌大専生を中心とするアソシエーション

具体的取組み

- ① 5区における特定健診とがん検診の同時実施及び拡充
- ② 休日がん検診実施体制の整備
- ③ 夜間等の検診体制
- ④ 応急仮設住宅における巡回検診の実施（H28年度～）
- ⑤ 特定健診との同時実施等も検討
- ⑥ 熊本市がん対策企業等連携協定の提供依頼など

具体的取組み

- ① 包括連携協定企業（尚桐大、イオン、佐川急便）との連携による受診率向上の取組み
- ※各企業の職員及びその家族に向けたがん検診勧奨
- ② 熊本市がん対策企業等連携協定企業との協働の取組み（今後検討）
- ③ 市内企業内における巡回検診の実施（今後検討）
- ※がん検診受診機会のない、臨時、パート社員などの受診環境整備。
- ④ かかりつけ医などによるがん検診受診勧奨
- ※その他薬剤師、歯科医師など

具体的取組み

- ① 検診初年度対象者（40歳到達者）等に対する受診勧奨
- ② 退職により受診機会を失った方（62、65、68歳到達者）に対する受診勧奨
- ③ 子宮頸がん発症率が高くなる30歳到達者への受診勧奨
- ④ 集団健診受診者への受診勧奨
- ⑤ 熊本市がん対策企業等連携協定への受診勧奨及び知識普及（毎年度初旬）
- ⑥ 10月のピンクリボン月間における受診勧奨（H28年度～）
- ・生命保険会社の協力を得て、保険外交員による受診勧奨を行う。
- ⑦ 市PTA協議会へのがん検診受診勧奨。（H28年度～）
- ⑧ 新たな受診勧奨の検討

具体的取組み

- ① 大腸がん検診の検体郵送
- ※冬期（11～2月）における検体郵送の試行
- ② 胃内視鏡検査の導入検討
- ※平成28年2月改定された国のがん検診指針の導入
- ※現在他政令市の状況を調査中。
- ③ 新たなステージに入ったがん検診総括支援事業（無料クーポン事業）の実施
- ④ がん検診自己負担金のあり方についての調査・分析

がん検診受診率向上計画年次計画表

取組み概要	区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
I がん及びがん検診に関する周知・啓発	取組み概要 がん及びがん検診の正しい知識の普及 あらゆる機会を捉えた広報の実施 各種団体等に対する啓発協力	① 市政だより、リビング新聞、すはいず、ラジオ等を活用した広報	拡充									
		② 他課等の行うイベントを活用した市民啓発	拡充									
		③ 乳幼児健康来庁者への乳・子宮頸がんパンフレット配布	継続									
		④ 区民まつりなど地域イベントにおける啓発	継続									
		⑤ GAN ANGEL S ※ 1 を活用した啓発	継続									
		⑥ K K T との協働による市民啓発の実施	拡充									
		⑦ 子宮頸がん検診受診啓発を行っている S K K ※ 2 との連携による啓発	継続									
		⑧ 市PTAなど各種団体会員向けの広報	拡充									
II がん検診受診環境の整備	① 5 区における特定健診とがん検診の同時実施及び拡充 ② 休日がん検診実施体制の整備 ③ 夜間等の検診体制 ④ 応急仮設住宅における巡回検診の実施特定健診との同時実施等も検討 ⑤ 熊本市がん対策企業等連携協定企業の参加呼びかけ	①	拡充									
		②	拡充									
		③	継続									
		④	拡充									
		⑤	拡充									
III 企業・団体等との協働による取組み	① 包括連携協定企業（商紳大、イオン、佐川急便）との連携による受診率向上の取組み ② 熊本市がん対策企業等連携協定企業との協働の取組み ③ 市内企業内における巡回検診の実施 ④ かかりつけ医などによるがん検診受診勧奨	①	新規									
		②	拡充									
		③	新規									
		④	拡充									
IV 効果的な受診勧奨	① 検診初年度対象者（40歳到達者）等に対する受診勧奨 ② 退職により受診機会を失った方（62、65、68歳到達者）に対する受診勧奨 ③ 子宮頸がん発症率が高くなる30歳到達者への受診勧奨 ④ 集団健診受診者への受診勧奨 ⑤ 熊本市がん対策企業等連携協定への受診勧奨及び知識普及（毎年度初旬） ⑥ 10月のピンクリボン月間における受診勧奨（H28年度～） ⑦ 市PTA協議会へのがん検診受診勧奨。（H28年度～） ⑧ 新たな受診勧奨の検討	①	継続								9月頃実施	
		②	継続									
		③	新規									9月頃実施
		④	拡充									6月頃実施
		⑤	継続									10月頃実施
		⑥	拡充									10月頃実施
		⑦	拡充									
		⑧	新規									
V 効果的な検診方法等の導入・検討	① 大腸がん検診検体郵送の取組み ② 胃内視鏡検査の導入検討 ③ 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業（無料クーポン事業） ④ がん検診自己負担金のあり方についての調査・分析	①	新規								11～2月頃実施	
		②	新規									11～2月頃実施
		③	拡充									
		④	新規									

新規 拡充 継続

議題(2)-4 糖尿病を減らそう事業

1 事業の目的

区民が糖尿病の発症や重症化を予防し、健康でいきいきとした生活をおくれるようするためには、一人ひとりが食生活や運動等の生活習慣改善に取り組むことが重要である。そこで、区民一人ひとりが自分の健康状態や生活習慣の現状を把握するとともに、生活習慣改善の具体的な行動ができるよう支援するため、区民の随時血糖検査を実施する。

2 事業主催

熊本市（中央区役所 保健子ども課）

3 事業共催

けんつく会（健康をつくるボランティア医師の会）

4 事業内容

(1) 実施方法

- ① けんつく会協力医療機関において随時血糖検査を実施する。
- ② 測定した検査結果をもとに受診勧奨及び保健・栄養指導を行なう。
- ③ 保健・栄養指導参加者は、生活習慣改善目標を設定し、健康づくりに取り組む。
- ④ 参加者のデータを活用し、効果的な意識啓発を実施する。

(2) 対象者（予定）

熊本市在住の20歳～65歳未満の方
（糖尿病治療中を除く）1,000人

(3) 周知方法

市政だより、ポスター、チラシ等
協力医療機関での患者家族等への呼びかけ

市政だより平成29年5月号

簡易血糖検査を受けてみませんか無料

「中央区から糖尿病を減らそう!!」事業を行います。健康をつくるボランティア医師の会「けんつく会」の協力医療機関で、食後に高血糖になりやすいかどうかを調べる簡易血糖検査が受けられます。

ぜひ、この機会にご自身の血糖値を測定し糖尿病の危険性の有無をチェックしてもらいましょう。

期 間 5月15日(月)～6月30日(金)

時 間 診療時間内

対 象 20歳～65歳未満の方

※糖尿病治療中の方を除く。

検査方法 指先に細い針を刺してごく

少量の血液で血糖値を測定

※食後2時間以内での検査となります。

実施医療機関(順不同)

医療機関	電話番号
藤好クリニック(中央区古川町)	☎096-353-2233
井内科クリニック(中央区水前寺)	☎096-383-0291
はくざん胃腸科・循環器科クリニック(中央区菅原町)	☎096-364-6060
小堀胃腸科外科医院(中央区黒髪)	☎096-344-1001
在宅・よろず相談クリニック(中央区水前寺)	☎096-234-7772
豊田消化器外科医院(東区江津)	☎096-371-4835
松本外科内科医院(中央区新市街)	☎096-352-0338
村上内科循環器科医院(中央区本山)	☎096-353-6201
熊本脳神経外科病院(中央区本荘)	☎096-372-3911
森永上野胃・腸・肛門科(中央区坪井)	☎096-346-0111

詳しくは、中央区役所保健子ども課へ。

5 スケジュール（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
事業準備	←→							
随時血糖検査		1回目 ←→				2回目 ←→		
受診勧奨		←	→					→
保健・栄養指導			←	→				
効果測定 まとめ							←→	
事業報告								○

*随時血糖値 200mg/dl 以上⇒医療機関での精査・治療を勧奨

*血糖値 140mg/dl 以上 ⇒ 2回目の随時血糖検査の受診勧奨、保健・栄養指導への参加呼びかけ

6 評価指標

(1) 区民の生活習慣改善の評価

①血糖値の改善

②個人の生活習慣改善目標の達成度

(例) 午後○時以降は、炭水化物や糖類を制限する
徒歩通勤にする

(2) 事業評価

血糖値改善が見られた、生活習慣の改善につながった区民の状況
(血糖検査やアンケート等から把握)